5.　ボランティアの感想

　たくさんの笑顔と思い出が詰まった、あっという間の５日間でした。
　遊ぶときは精一杯遊び、協力するときはみんなで協力する。５日間、
子どもたちは自らの力で楽しい思い出を作ってきました。
キャンプファイアーで分かち合った友情の火、自立の火を、
いつまでも灯し続けてくれることを心から願っています。
いつまでも絶えることなく、友達でいようね。
　私は大学１年の夏、第３回目の活動から
学生ボランティアとして参加し、４年間、
郡山の子どもたちとともに、私自身も成長してきました。
来年から社会人になります。
子どもたちとの思い出を胸に、
今後も仕事やボランティア活動に励む所存です。
また、私に限らず、多くの高校生・大学生が、
この活動を通して学びや成長の糧を得ていることと
存じます。
学生を代表して、子どもたちや保護者の皆様、
活動を支えてくださった皆様に深く御礼申し上げます。
本当にありがとうございました。

学生ボランティア 河野和

　長梅雨や台風発生などで悪天候が続く中、その日はやってきた。
６回目の「郡山の子どもたちと遊ぶ会」初日だ。今年は２７＋１で過去最高の人数。
特筆されるのは１期生のＳさんが高校生になってボランティアとして参加、子どもたちを引率して来た、夢のような現実に大感激！小学生だったＳさんがすっかり大きく成長して戻ってきてくれた。時代が変わり、令和での新しい一歩の始まり感「大」である。
受け入れ側の「チーム坂戸」もボランティア総勢８０名。小さな輪が大輪となって咲いてきた。
　１回目から参加の私は２回目以降洗濯を担当。衣服を介して子どもたちとのスキンシップと今どきの小学生のファッションの勉強になったりもしている。
今回は初めて郡山への帰路にも同行。
改めて、この５日間の充実ぶりを感じ入るバス旅であった。
我等裏方軍団は個性豊かなメンバー揃いで和気藹々、子どもたちから笑顔とパワーをもらっての応援団だ。
今年度も元気の素である沢山の食材提供に感謝！！

裏方チーム所属　Ｃ．Ｋ

6.　あとがき

こまったときは、お互い様

私たちは、子どもを守る

誰もやらないなら、私たちがやる

子どもたちの笑顔が、

私たちの元気の素

そんな気持ちを持った仲間が

こんなにたくさん住んでいる

坂戸市です

寝食を共にして子どもも大人も共に成長する喜びを

今年も報告集を読み直し確認することができました

今後も引き続き、私たちの活動へのご理解とご協力をお願い致します

事務局長　武井　誠

私は、今を生きている。

みんなと一緒に。

そして、これからも生きていく。

一日一日を大切に。

平和を想って。平和を祈って。

なぜなら、未来は、

この瞬間の延長線上にあるからだ。

つまり、未来は、今なんだ。